

指定管理者導入方針の意見書に対する回答（柏市民交流センター・柏市民ギャラリー）

(1) 今期指定期間の終了後、指定管理者制度を継続する。

⇒ 委員10名全員から「可」として回答あり  
質問や意見は特になし

(2) 要求水準や指定期間など、指定管理者の募集に関する具体的な基準について、施設所管部署からの回答に基づき設定する。

⇒ 委員10名全員から「可」として回答あり

No.	質問や意見の概要	質問者	市の考え方、対応方針
1	<p>・宮入委員から提案事業の予算額算出根拠を問われ、5年間で1,400万円との回答があったが、他に経費は掛からないのか(全体経費)。</p> <p>・また、提案事業の事前評価はどのように行うのか。具体の事業評価基準は如何に。(指定管理者選定の際の採点基準となるもので、提案事業と自主事業の評価にあたって配点比重は同じなのか、提案事業を重視するのか、どのような事業内容を高く評価するのか等々、より具体の基準)</p> <p>・提案事業と自主事業の位置づけ(線引き)についてお示しください。また、提案事業の実施主体は市or指定管理者のどちらになるのでしょうか。公金支出の方法:指定管理料or補助金?</p>	高橋(秀)委員	<p>・事業の直接経費としては、宮入委員に回答している1400万円を積算しています。一方で、今回の検討会議での委員からのご指摘を踏まえ、施設の目的に沿った交流事業等を担う専門人材の配置を検討しており、提案事業の実施に当たっても中心的な役割を果たすことを期待しております。なお交流事業等に係る専門人材等の配置については、新たに年間327万円の報酬を追加で積算しております。</p> <p>・提案事業の事前評価は、選定審査評価表3-2「効果的な提案事業や自主事業の実施」(配点2)で設定しており、「サービス向上」の観点から自主事業との内容から総合的に審査いただく項目としています。なお、配点比重については、他の委員からのご意見も踏まえ、全体バランスを見ながら見直しを検討します。提案事業での重視するポイントや評価するポイントについては、提案者の創意工夫等を促す意味で、募集資料の「提案事業のガイドライン」にて大枠を示すのみとしますが、質問受付や個別説明会等では施設の現状や課題認識を具体的に説明してまいります。また、事後評価として、年次事業報告や定期的なモニタリングの際に、その達成状況を確認していきます。</p> <p>・自主事業は、指定管理者が主体となって企画立案し実施する指定管理業務以外の事業です。実施には、指定管理者が施設の一利用者となって施設の全部または一部を利用して、企画立案から事業の実施まで指定管理者が実施します。</p> <p>一方、提案事業は、指定管理者が企画立案及び実施する点においては、自主事業と同様ですが、事業内容は、市が示している施設の設置目的や利用者のサービス向上に資する事業とし、施設の特性等から指定管理者の創意工夫を活かした積極的な事業の展開が求められます。公金の支出方法については、指定管理事業として実施するため、指定管理料の中で見込みます。</p>
2	<p>今回の新型コロナ感染防止の経験から、映像配信・リモートの必要性・需要は増大している。しかしながら、直接会い集うことの大切さ、実物が訴える力、それを市民が直に感じてもらえる施設「場」、の価値が損なわれた訳ではないので、この視点が欠けないようバランスの取れた表現の配慮をお願いします。</p>	宮島委員、吉田委員	<p>委員のご意見のとおり、企画内容により興味をもってもらうために、広く映像配信するなど様々な方法を駆使し、創意工夫を期待いたしますが、やはり、本物を観てその良さを体感していただく視点を失わないよう対応してまいります。</p>
3	<p>「施設の設置目的である交流促進や市民公益活動、文化振興を促進するため各分野に熟知したスタッフがいることは望ましい、募集要項の要求水準に盛り込むことを検討する」とご回答頂きました。是非お願いします。出来れば、アートマネージメント、アートコミュニケーション、という「言葉」も入れて頂きたいくらいです。</p> <p>多様な人の交流拠点としての 障害者対応について、ご回答にあった「障害者団体と施設内で喫茶コーナーを設置する」も1案としては有りだと思いますが、市民ギャラリーを持つ文化の拠点でもあるパレット柏なら点でもあるパレット柏ならではの考え方もあるのではないのでしょうか。アートでは、障害者であってもむしろ既成概念を超えた新しい価値観や気付きを与えることが出来ます。パレット柏の指定管理者はギャラリー運営も担うことが大きな特徴です。しかも、単なる施設管理だけでははないと認識しておりますので、アートの勉強をされた方が指定管理者のスタッフの中にいることで、市民ギャラリーの企画として障害者アートを取り上げたり、国籍を超えた交流、若い世代も巻き込むワークショップの実施など、アートという手法を使って、柔軟な新しい交流方法の発想が出てくることを期待します。それでこそ、文化・交流複合施設ではないのでしょうか。</p> <p>※障害のある方のアート事例:アートラインかしわ「共晶点」に3回参加、四肢麻痺を持つ洋画家・野田一民氏(柏市在住)</p>	亀岡委員	<p>ご意見のありましたように、単なる施設管理を行うアートマネージメント、アートコミュニケーション、という具体的な言葉を要求水準に入れることはできませんが、市民ギャラリーに関しては、単に美術品を並べる陳列に留まらず、その空間を通じて鑑賞者へ何を伝え何を感じてもらおうか、新たな個人の活力、時には新たなコミュニティ形成に繋がるマネジメント力、コミュニケーション力を求める、といった趣旨の内容を要求水準に盛り込みます。</p>

(3) 候補者選定の評価表について、審査内容や配点等について、施設所管部署からの回答に基づき設定する。

⇒ 委員10名全員から「可」として回答あり

No.	質問や意見の概要	質問者	市の考え方、対応方針
1	メリハリのつく点数配分の設置を望みます。	宮島委員、吉田委員	委員の皆様の意見を反映し、施設の設置目的や趣旨に沿った提案がされるようメリハリをつけた点数配分にしてまいります。
2	[2] 施設の効用 2-1 の加点に賛同します。	亀岡委員	「施設の設置目的、市が示した管理方針等との整合性及び施設の効用を最大限に発揮できる可能性」について加点することとします。